

きんれんか

第48号

発行日/平成30年8月
釧路支部会員数

(平成30年7月)

保健師	74名
助産師	45名
看護師	1671名
准看護師	65名
総数	1855名

平成30年度釧路支部活動に向けて

北海道看護協会釧路支部

支部長 杉山好美



会員の皆さまにはますますご活躍のこととおよろこび申し上げます。日頃より、釧路支部の事業にご支援ご協力を頂き感謝いたします。お蔭さまで29年度の事業は滞りなく終えることが出来ました。

今年は6年に一度の診療報酬の医療・介護同時改定がありました。地域包括ケアシステムの構築を更に推進する内容で、少子高齢化に医療機関はどう対応していくのか、方向性を決めることを迫られています。釧路区域地域医療構想では回復病床の不足が課題とされています。変更を検討している施設もおありかと推察いたします。7対1看護が、厳格化されたことで、以前より少ない人数で重症者を看護するという職場も出ているのではないのでしょうか。医療依存度の高い方々を地域・在宅でケアする機会が増えていますが、需要に応えられる地域看護師のマンパワー不足が課題です。地域の皆様がシームレスな看護、介護を受けられるためにも対策が必要です。新卒看護師も訪問看護を目指せる体制づくりと潜在看護師の復職支援を目指していきたいと思っております。

看護協会は事業を「看護の質向上」「看護職確保」「地域住民の健康増進」「組織運営に関わること」と大きく4つの分野に分けて実施しています。その主なものを紹介します。看護の質向上の分野では、9月15日にテーマ「終末期を迎える患者・家族への退院支援と看護師の役割」の研修会、11月17日には看護研究合同発表会を予定しています。研究発表会は日頃の看護活動の成果を発表し、地域で共有できる場として毎年開催しています。是非多くの皆様にお越しいただきたいと思っております。地域住民の健康保持増進として、釧路町健康フェスティバル、釧路健康まつりに参加しています。

釧路支部は看護を通して保健・医療・福祉の向上に貢献し地域の健康サポーターになりたいと願っています。

引き続き会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。



平成 30 年度 総会報告

日本看護協会通常総会に参加して

釧路市音別町行政センター保健福祉課 山田 千景

平成 30 年度通常総会が 6 月 12 日パシフィコ横浜で開催され、私は釧路支部の代議員として初めて総会に参加させていただきました。全国から 748 名の代議員を含む、3433 人の看護職が集まり、朝早くから長蛇の列を作り会場入りする姿は見事でした。

午前中に行われた役員改選の選挙では、釧路支部の皆様の代表として一票を投じることに少々緊張しましたが、貴重な体験をさせていただきました。

午後からは、平成 29 年度の活動報告や今年度の重点政策・事業等の報告がされ、2 時間にわたる質疑応答は、時間を余すことなく次々に質問や要望があげられました。特に印象に残ったのは、76 歳の会員の方が准看制度廃止について熱く語られ、現役を引退された今もなお、看護職の質の向上にご尽力いただいている姿でした。これまでの看護協会や諸先輩たちの活動の歴史があって今があることを実感でき、感謝の気持ちがありました。

総会に出席させていただき、本当にありがとうございました。

北海道看護協会 通常総会に参加して

市立釧路総合病院 五十嵐 美穂

私は平成 30 年 6 月 23 日、札幌コンベンションセンターにて開催された北海道看護協会通常総会に代議員の一人として参加させていただきました。代議員 200 名、役員及び一般参加者合わせて総勢 500 名以上の参加がありました。

総会では議決事項 5 議案が承認され、報告事項の 6 項目が協議報告されました。今年度の重点事業報告として、

- 1、全世代型地域包括システム構築の推進
- 2、看護職が働き続けられる環境作りの推進
- 3、看護職の役割拡大の推進と将来を担う人材の育成、の 3 点があげられました。

少子高齢化社会の中、看護職の果たす役割は重要であり多職種と連携し、医療・介護・福祉が適切に提供できるようにすること、看護職がそれぞれの立場で働き続けることができるようにすること、今後の将来を担う人材の確保、教育が必要であり、昨年度からの方針を継続して更なる発展を目指していると知ることができました。今回、初めて総会に参加し、看護協会の会員の一人として、自分の果たす役割を考える機会となりました。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

北海道看護協会 釧路支部大会に参加して

社会医療法人孝仁会星が浦病院 小笠原 江利子

平成 30 年 2 月 17 日に釧路市生涯学習センターまなぼつと多目的ホールにおいて、三職能合同集会講演会と支部大会が開催されました。三職能合同講演会では『認知症初期集中支援チームの役割』をテーマに、釧路市における初期集中支援チームの現状について講演をさせていただきました。認知症初期集中支援チームの活動や、認知症の初期の段階から関わっていく事の重要性について等お話しをさせていただきました。

また、支部大会では初めに支部長の挨拶、来賓の祝辞があり、続いて役員選挙が行われ滞りなく選任が行われました。平成 29 年度の事業報告も行われ、私は今回初めて参加させていただきましたが、釧路管内での医療・看護がより良くなる為に、医療安全に関する研修や地域における様々な活動が行われている事を知ることができました。

今回私自身も講演という貴重な経験をさせていただきました感謝しております。今後も看護協会の活動に興味を持ち、参加させていただきたいと思っております。

平成 30 年度 北海道看護協会 釧路支部委員

支部役職名	氏名	所属施設	役職
支部長	杉山 好美	釧路労災病院	看護部長
第 1 副支部長	服部 紀美子	釧路孝仁会記念病院	副院長兼看護部長
第 2 副支部長	松木 美穂	北海道釧路振興局保健環境部 保健行政室 健康推進課	課長
第 1 書記	武田 香苗	釧路労災病院	看護師長
第 2 書記	井上 操	釧路赤十字病院	看護副部長
第 1 会計	横澤 ひとみ	釧路赤十字病院	看護師長
第 2 会計	山田 和美	東北海道病院	看護師長
保健師職能委員長	布施 友美	厚岸町保健福祉総合センター	主査
助産師職能委員長	只野 恵	釧路赤十字病院	看護係長
看護師職能委員長	三澤 由美子	釧路労災病院	看護師長
教育委員会	岩澤 由美	釧路労災病院	看護師長
働き続けられる職場 づくり推進委員長	長沼 ひとみ	市立釧路総合病院	課長補佐
推進委員長	宮本 奈保子	道東勤医協 法人事務局	看護部長

北海道看護協会 釧路支部 委員紹介

保健師職能委員会

厚岸町保健福祉総合センター 布施 友美

看護協会釧路支部の保健師在籍数は約 80 名で保健師職能委員会は 5 名で構成されています。活動内容は、年 2 回の保健師職能集会、助産師職能との合同集会による研修会、保健師職能だよりの発行を行っています。

保健師の職場は道や市町村の行政機関、病医院、検診センター、企業等多岐にわたり一同に集まる機会が少ないのが現状です。

また、地域や職域における公衆衛生看護活動や予防活動が保健師活動の原点ですが、昨今のめまぐるしく変化する健康課題への対応に追われているのが現状です。

そのような中、保健師同士の情報交換や研鑽し合う場として、また、顔のみえるネットワークを築き、職能団体として機能の一助となるように、委員一同努力していきますので、今後も皆様のご協力をお願いします。

助産師職能委員会

釧路赤十字病院 只野 恵

助産師職能委員会は、3 名（委員長、書記、会計）で構成され、2 年任期で活動しております。主な活動は、助産師職能集会を 1 回、保健師職能との合同集会を 1 回開催し、助産師だよりの発行等を行っています。

今年は、地震防災アドバイザーの倉野康彦先生を講師として助産師職能集会へお招きし、「避難所運営ゲーム HUG を通して母子を災害から守る」をテーマに講演とグループを行う予定です。会員間の交流と連携を図る場としていきたいと考えていますので、是非、多くの方の参加をお待ちしております。

今年度も会員の皆様と共に活動をしていきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いします。





看護師職能委員会

釧路労災病院 三澤 由美子

看護師職能委員会は、看護職としての知識の向上を図ること、看護連携強化による看護の質向上を目指すことを目標としています。地域の各病院や施設、訪問看護ステーションなどの看護師6名で構成され、看護師職能集会・三職能合同集会、懇談会を企画・運営しております。

できるだけ多くの会員に参加していただけるよう、地域連携ケアシステムなど時代の変化

に対応していくためのヒントとなるような魅力いっぱいの研修を考えております。

また、今年も看護師職能Ⅱの懇談会の開催を10月に予定しております。介護分野で勤務する看護師が抱える悩み、看護連携についてなどの意見交換を行っていきます。是非研修会に参加し、釧路地域の看護の連携強化を図っていきましょう。



教育委員会

釧路労災病院 岩澤 由美

教育委員会の主な活動内容は、研修会の企画と運営です。今年度の支部担当研修はH30年9月15日(土)に「訪問看護ステーションらいふ」の本間美紗所長を講師として「終末期を迎える患者・家族への退院支援と看護職の役割を学ぶ」を予定しております。

また、H30年11月17日(土)には「北海道看護協会釧路支部看護研究合同発表会」を予定しており、昨年度と同様ポスターセッションも募集いたします。

教育委員会では、研修会毎に皆様からご協力いただいたアンケートを参考に、研修テーマを検討しています。テーマ決定後は、講師の選定・ご案内の発送・講師との調整や資料の準備・当日の研修・評価という流れで研修を運営しています。

私達は会員皆様の学習ニーズに沿い「参加したい」と思えるような研修となるよう活動していますので、一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

働き続けられる職場づくり推進委員会
市立釧路総合病院 長沼 ひとみ

「働き続けられる職場づくり推進委員会」は5名で活動しています。委員会の主な活動は、会員及び地域への広報活動です。

広報活動として、各施設の協力を得て、釧路管内の高校生を対象に「一日看護師体験」を実施しています。年々参加希望者は増え、高校生の看護職への関心の高さを感じるとともに、将来看護の道へ進まれる方が増えることへの期待が高まります。

今年度は9月25日に予定しています。体験場面や感想は支部広報誌「きんれんか」で紹介し北海道看護協会の支部ホームページに掲載しています。

広報誌「きんれんか」は年2回（9月・2月）ホームページに掲載し、総会・研修報告、働き続けられるためのワークライフバランス、頑張るナースの紹介などを取り入れた内容としています。

会員の皆様に興味を持っていただけるような情報を発信していきたいと考えています。



推薦委員会
道東勤医協 宮本 奈保子

推薦委員会は、看護協会活動の要となる支部役員について会員の皆様から候補者を推薦し支部長に報告するという役割を担っております。今年度は、平成31年度改選支部役員候補者並びに平成31年度北海道看護協会通常総会代議員候補者の推薦と、平成32年度日本看護協会通常総会代議員候補者の推薦を行う予定です。各候補者の推薦につきましては、できるだけ選出施設の偏りを避け、会員数や所在地を考慮しながら検討を進めてまいります。

会員の皆様には、看護協会活動への積極的な参加の機会として、快くお引き受けいただけるように取り組みたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご存知ですか？

「看護師の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン」

公益社団法人日本看護協会は基本理念の中で「看護師が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり」をあげています。

看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドラインは、「看護職の安全と健康が患者の安全と健康を守る」との基本認識のもと、日本看護協会が2013年に公表したものです

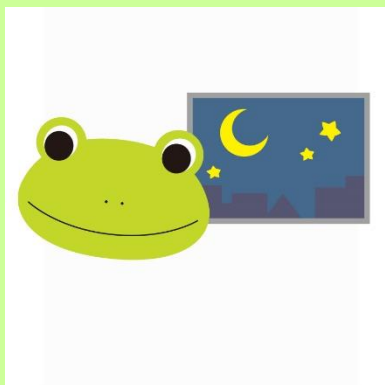
ガイドラインでは

- ・現在行われている夜勤・交代勤務が抱えある問題
- ・負担を軽減するための組織・個人における対策の提案
- ・夜勤・交代制勤務に関する規定や法令についてコンパクトにまとめて掲載されています



看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドラインは、日本看護協会ホームページよりダウンロードできます。また書籍も販売されています。詳しくは、日本看護協会ホームページを御参照ください





調べてみました

働き続けられる職場づくり

「院内保育・夜間保育」

男性看護師が増加している近年ですが、まだまだ看護職は「女性の職場」としてのイメージが強くあります。

子育てのために夜勤を続けるのが困難と、一時退職する看護職のみなさんも多かったと思います。しかし最近では院内保育に加え夜間保育を導入する院内保育所を併設する医療機関が増えていると聞きます。

そこで釧路市内の入院病床を有する医療機関を調査してみました。

その結果、院内保育所を有する医療機関のおよそ78%が夜間保育を導入しています。

その他、時短勤務の導入など、子育てをしながら看護を続けられる場が広げられていることが分かりました。

子育てをしながらも働き続けられる職場が増えています。



編集後記

全国的に記録的な猛暑の今年、釧路も例年になく暑さとなる日もありましたね。短い夏ではありますが、皆さま体調を崩さぬようご自愛ください。

働き続けられる職場づくり推進委員会では、今後も皆さまのご活躍を報告してまいります。

発行所

北海道看護協会釧路支部

編集責任者／杉山 好美

担当／働き続けられる

職場づくり推進委員会